

令和7年度

千葉市アグリビジネス体験

のご案内

農業の“リアル”を 体験する

全国屈指の農業県である千葉県。ほぼ中央に位置する千葉市は、政令指定都市でありながら、県内でも上位の農業産出額を誇る農業が盛んな地域です。

農作物の栽培に適した温暖な気候を活かして、一年を通じて多くの品目が栽培されています。

首都圏の大消費地と近接しているため、地産地消等の新鮮な農産物をコストを抑えながら流通・販売できる都市型農業が展開されています。

現在、千葉市の農業は農業経営者の減少と高齢化が著しく、次世代を担う若い農業者を増やすことが喫緊の課題となっています。

千葉市の農業の“リアル”な体験を通じて、農業という職業に興味を持ってもらい、将来、千葉市で農業を志す若者を増やすことを目指しています。

魅力的な2つの体験

農業体験

千葉市内の農業者のほ場で、実際に農作業を体験します。農業者や開催時期によって作物や体験内容が異なり、一年を通じて様々な品目が栽培されている千葉市の農業の魅力や特徴を学ぶことができます。



交流体験

実家から独立して農業法人設立、「人生の転機」があって他業種からの転職等、農業者には職業としての農業を選択した様々なストーリーがあります。農業の魅力だけではなく。経営者としての農業に対する考え方や将来のビジョン等、意見交換や交流を通じて、「職業としての農業」を体験することができます。



お問合せ先



【部署】千葉市経済農政局農政部農政課
【E-mail】nosei.EAA@city.chiba.lg.jp

【住所】〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
【TEL】043-245-5757 【FAX】043-245-5884

<新進気鋭の有機農業者の取組を体験！>

申込締切：8月4日

受入先：株式会社MoWG
代表者：代表取締役 山下 大輝



HP

営農類型：有機施設野菜、施設・露地栽培

主な栽培品目：ほうれんそう、小松菜、キャベツ、ネギ、ニンジン等



オーガニックほうれん草

- 2018年に千葉市花見川区で就農。就農当初から有機栽培に取り組み、現在は市内でも有数の規模を誇る。(有機JAS認証、みどり認定取得)
- 主に、市内大手スーパー（イオン、イトーヨーカドー等）で販売。
- 経営理念として「人と地球が共に生きられる未来をつくる」を掲げ、農業を通じて環境問題・食料自給率・過疎化など、様々な問題に取り組んでいる。

アグリビジネス体験の概要

○農業体験

- ・夏野菜（小松菜、モロヘイヤ、オクラ、枝豆 等）の収穫作業
- ・収穫した野菜の出荷調整作業、除草作業

○交流体験

- ・株式会社MoWGについて（農業・経営戦略、環境配慮（有機JAS認定、みどり認定） 等）
- ・職業としての農業について（見込まれる収入、新規就農の成功例と失敗例 等）

○募集概要

日程	8月20日（水）～8月22日（金）	時間	8:00～17:00 ※適宜休憩時間を設けます。
場所	千葉市花見川区畑町 （現地集合）	昼食	持参してください
アクセス	JR総武線新検見川駅、京成バス ※詳細は別紙のとおり	募集人数	5人 （最小催行人数3人）
備考	・熱中症対策は万全にしてください。		

<事業の流れ>

- ①右のQRコード（千葉市電子申請システム）を読み取って参加申し込みをしてください。
- ②応募確認後、受入農業者と相談して対象者を選考します。
- ③農政課より、選考結果を送付させていただきます。
- ④アグリビジネス体験を実施。
- ⑤全日程終了後、アンケートの回答にご協力をお願いします。

※QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

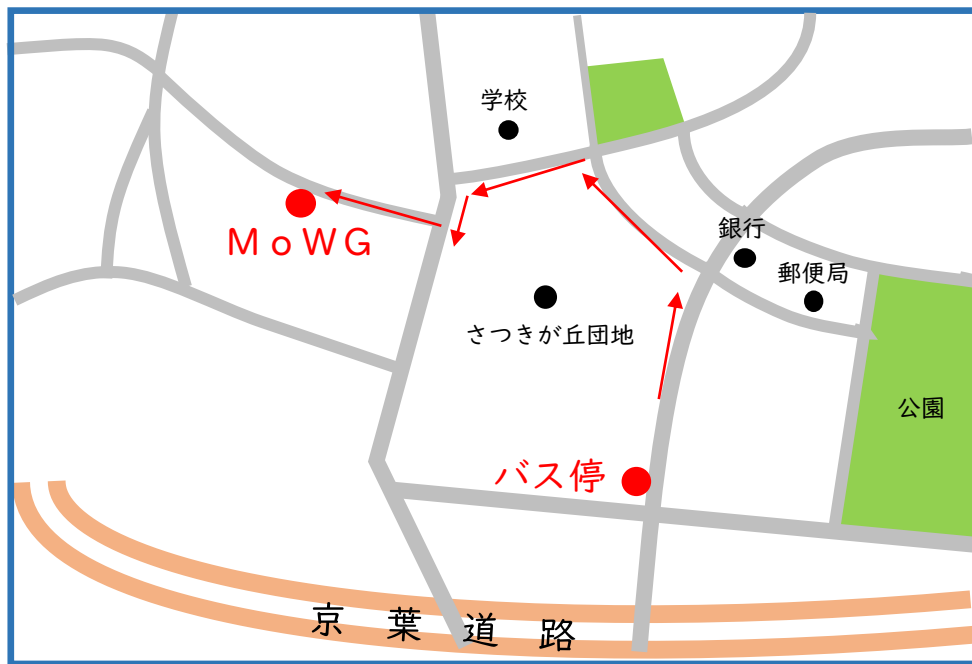
申込はこちらから！

その他の募集
（順次追加予定）



～JR新検見川駅からのアクセス～

- ・ JR新検見川駅より京成バス[検01]「さつきが丘団地行き」に乗車後、「さつきが丘第一」で降車します。（所要時間：約10分）
- ・ 京葉道路を背に直進し、京葉銀行の前を左折。さつきが丘西小学校沿いに二度左折し、1本目の道路を右折した先がほ場になります。（所要時間：約10分）



～注意事項～

●熱中症対策に関して

8月は、気温・湿度共に非常に高くなることが予想されます。屋外での作業には十分注意し、必ずこまめに塩分・水分補給をして下さい。また、もし少しでも気分が悪くなった際は、ためらわずに申し出てください。飲み物等は各自で持参して頂くようお願い致します。